

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月30日

計画の名称	相模原市の下水道における防災・減災対策計画（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	相模原市												
計画の目標	下水道施設の防災・減災対策について、未耐震の下水道施設の耐震化を図る。												
	下水道施設の老朽化の維持管理について、対処療法的手法から予防保全的手法に転換し、下水道施設の長寿命化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,134	A	10,134	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	1 管渠の耐震化の実施			
	1 管渠の耐震化にかかる工事実施延長 管渠耐震補強工事実施延長／工事実施の総延長（7,800m）	300m	2400m	4500m
2	2 管渠の長寿命化の実施			
	2 管渠の長寿命化にかかる工事実施延長 管渠長寿命化工事実施延長／工事実施の総延長（5,400m）	0m	200m	900m
3	3 ポンプ場の長寿命化の実施			
	3 ポンプ場の長寿命化にかかる工事実施件数 ポンプ場長寿命化工事実施件数（箇所）／工事実施及び設備更新の実施件数（6箇所）	0箇所	3箇所	6箇所
4	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化の実施			
	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化にかかる工事実施基数 公共下水道流量中央監視盤長寿命化工事実施基数（基）／流量中央監視盤の全組数（24組）	2組	24組	24組

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
相模原市総合地震対策計画、相模原市管渠長寿命化計画、相模原市污水ポンプ場長寿命化計画																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 雨水）	改築	公共下水道管きょ耐震化 事業	実施設計（11km）及び耐震化 工事（1650×1650～5000×50 00㎡馬蹄、更生工法 L=4.2km ）	相模原市	■	■	■	■	■	8,234		策定済
		「相模原市総合地震対策計画」に基づく事業																	
	A07-002	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 汚水）	改築	公共下水道管きょ長寿命 化事業	実施設計（3.4km）及び長寿 命化工事（L=1.4km）	相模原市	■	■	■	■	■	1,193		策定済
		「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																	
	A07-003	下水道	一般	相模原市	直接	－	ポンプ 場	改築	ポンプ場長寿命化事業	設備更新工事（6箇所）	相模原市	■	■	■	■	■	500		策定済
		「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																	
	A07-004	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 汚水）	改築	公共下水道流量中央監視 盤更新事業	流量計長寿命化更新工事 22 組	相模原市	■	■				207		－
										小計						10,134			
										合計						10,134			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	881	687	37	50	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	△9	0	
交付額 (c=a+b)	881	687	28	50	
前年度からの繰越額 (d)	0	793	556	28	
支払済額 (e)	88	923	556	28	
翌年度繰越額 (f)	793	556	28	50	
うち未契約繰越額(g)	0	231	11	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	1	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	15.67	1.88	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		H31 (R1) 補正にて交付された230,835千円が未契約繰越のため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 相模原市の下水道における防災・減災対策計画（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1 基本計画・上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 相模原市下水道基本計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 上位計画等（相模原市下水道ビジョン、相模原市下水道施設地震対策事業計画、相模原市下水道施設維持管理計画）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 都市基盤の確保という観点から地域のニーズが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
3 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
4 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
5 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 事業実施のための住民との合意形成が図られている。	○

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月25日

計画の名称	相模原市の下水道における防災・減災対策計画（防災・安全）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	相模原市														
計画の目標	下水道施設の防災・減災対策について、未耐震の下水道施設の耐震化を図る。														
	下水道施設の老朽化の維持管理について、対処療法的手法から予防保全的手法に転換し、下水道施設の長寿命化を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		10,134	A	10,134	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	1 管渠の耐震化の実施			
	1 管渠の耐震化にかかる工事実施延長 管渠耐震補強工事実施延長／工事実施の総延長（7,800m）	300m	2400m	4500m
2	2 管渠の長寿命化の実施			
	2 管渠の長寿命化にかかる工事実施延長 管渠長寿命化工事実施延長／工事実施の総延長（5,400m）	0m	200m	900m
3	3 ポンプ場の長寿命化の実施			
	3 ポンプ場の長寿命化にかかる工事実施件数 ポンプ場長寿命化工事実施件数（箇所）／工事実施及び設備更新の実施件数（6箇所）	0箇所	3箇所	6箇所
4	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化の実施			
	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化にかかる工事実施基数 公共下水道流量中央監視盤長寿命化工事実施基数（基）／流量中央監視盤の全組数（24組）	2組	24組	24組

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
相模原市総合地震対策計画、相模原市管渠長寿命化計画、相模原市污水ポンプ場長寿命化計画												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 雨水）	改築	公共下水道管きょ耐震化 事業	実施設計（11km）及び耐震化 工事（1650×1650～5000×50 00〇馬蹄、更生工法L=4.2km ）	相模原市	■	■	■	■	■	8,234		策定済	
		「相模原市総合地震対策計画」に基づく事業																		
	A07-002	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 汚水）	改築	公共下水道管きょ長寿命 化事業	実施設計（3.4km）及び長寿 命化工事（L=1.4km）	相模原市	■	■	■	■	■	1,193		策定済	
		「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																		
	A07-003	下水道	一般	相模原市	直接	－	ポンプ 場	改築	ポンプ場長寿命化事業	設備更新工事（6箇所）	相模原市	■	■	■	■	■	500		策定済	
		「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																		
	A07-004	下水道	一般	相模原市	直接	－	管渠（ 汚水）	改築	公共下水道流量中央監視 盤更新事業	流量計長寿命化更新工事 22 組	相模原市	■	■					207		－
												小計						10,134		
											合計						10,134			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部評価	令和7年度
	公表の方法
	市ホームページにて公開
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道施設の管きよの耐震化工事を行ったことにより、姥川第1ーイ幹線などの重要な幹線等の管渠約3.5kmの耐震性能を確保した。 下水道施設（管きよ：900m/ポンプ場設備：6箇所/中央監視盤等：22箇所）の長寿命化工事等を実施し、対応を完了した。これらの防災・減災対策により安全・安心な生活環境の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
安全・安心な生活環境の向上を図るため、次期（令和5年度から令和9年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き下水道施設の予防保全型の維持管理を推進する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	4500m	工事箇所が緊急輸送道路等であり、交通量が多いこと、施工性が低い大口径管の工事であること、専門性が高く、受注体制における市場性が低いことから工事に長期間を要したため、目標値を下回った。
	最 終 実績値	3471m	
2			
	最 終 目標値	900m	
	最 終 実績値	900m	
3			
	最 終 目標値	6箇所	
	最 終 実績値	6箇所	
4			
	最 終 目標値	24組	
	最 終 実績値	24組	

(参考図面)

